



Microsoft トピックス情報 (11月度版)

ダイワボウ情報システム株式会社

※2025年11月5日時点の情報となり、今後変更となる可能性がございます。ご了承ください。

ページ	スライドタイトル	新規・更新	更新箇所
P3	Microsoft 365 Copilot 10本以上でお得！キャンペーン	新規	
P4	M365 E3/E5のTeams付き3年モデル提供開始	新規	
P5	MCA同意について		
P6	CSPリセラー要件変更について		
P7,8	CSPリセラー要件【よくあるお問い合わせ例】		
P9	MPNIDチェック(POR)の厳格化		
P10	12/1～ MPNIDチェックの開始について	新規	
P11	Copilot Agent Mode (プレビュー版)	新規	
P12	従量課金で使える Microsoft 365 Copilot Chat	新規	
P13	“M365 価格ランク廃止の制度変更について” ウェビナー開催	新規	
P14,15	Microsoft 365 連携ソリューションのご紹介	更新	最新記事を掲載
P16	【10月】MSTピックアップ情報資料についてのアンケート		

※P17以降のAppendixには、過去2か月分のトピックスを含めています。

本数
限定

文書・提案資料作成からメールや会議要約まで、さまざまな業務シーンで活用できる効率的なAIアシスタント
 Microsoft 365 Copilot が **定価の21%OFFになるキャンペーン** を実施いたします！

- 対象期間** 2025年10月27日(月)～ **2025年12月31日(水)** までの開通完了分 ※iKAZUCHI(雷)での注文締切は、12月23日(火)15:00まで (上限に達し次第終了)
※本数限定となり、予定数に達し次第キャンペーンを終了させていただきます。
- 対象製品** Microsoft 365 Copilot (年契約・年払) ※アカデミックは対象外となります。
- 注文方法** iKAZUCHI(雷)からのお申し込みのみ対応
- 購入条件** iKAZUCHI(雷)新規注文での発注分が対象 (新規テナント取得、既存テナントへのプラン追加)
- 最低購入本数** **10本**



キャンペーン対象型番(年契約・年払のみ) ※「ご提供価格」は、DISからパートナー様へのご提供価格(税抜)となります。

商品名(正式名称)	キャンペーン型番	①定価	②通常ご提供価格 (12か月分)	③キャンペーン ご提供価格	①-③ 11,332円 お得！
【NCE】【新規】Microsoft 365 Copilot (年契約・年払)P09	ZCSP-N/MM8R002B/P09	53,964円	51,156円	42,632円	

【注意事項】

- 当社の売上請求は、開通月の翌月になります。(当月計上は不可)
- 開通の2営業日後に、**単価変更予約が自動作成され、iKAZUCHI(雷)上通常価格が反映**されます。
※新規注文開通後すぐに「変更注文」を作成いただいた場合は、iKAZUCHI(雷)上、キャンペーン価格が表示される場合がございますが、実際のご請求は通常価格(残12ヶ月型番等)でのご請求となります。iKAZUCHI(雷)上の価格と、実際のご請求に差異が生じますので、予めご了承ください。
- 年契約は「契約期間中での解約は不可」となります。
- 契約発効時に開通分のみがキャンペーン価格対象となります。**契約発行後の「増数分」は、キャンペーン価格対象になりません。**
- キャンペーン終了後、更新時の価格は通常価格となります。**



Microsoft 365 Copilot の利用には、
下記ベースライセンスを同数以上保有していることが条件となります。

Microsoft 365 Copilot ベースライセンス ※Teams あり、Teams なし双方

Microsoft 365 E3・Microsoft 365 E5
 Microsoft 365 Business Standard・Microsoft 365 Business Premium
 Office 365 E1・Office 365 E3・Office 365 E5・Office 365 F3
 Microsoft 365 Business Basic・Microsoft 365 F1・Microsoft 365 F3
 Microsoft 365 Apps for business・Microsoft 365 Apps for enterprise
 その他一部単体ライセンス
 ※ベースライセンスの詳細は、[こちら](#)をご確認ください。

【キャンペーンチラシ】販売店様向けは [こちら](#) / ユーザー様向けは [こちら](#) ※iDATEN(韋駄天)ログイン後にクリックをお願いいたします。

11月1日よりMicrosoft 365 E3、E5についても3年間契約が可能となりました！

3年契約
可能な製品

Microsoft 365 E3、E5 (No Teams) / Office 365 E3 (No Teams) / Microsoft Teams Enterprise (No Teams)
Microsoft 365 E3、E5 (**Teams付**) / Office 365 E3 (**Teams付**) / Microsoft Teams Enterprise (**Teams付**)

お支払い方法

3年契約**3年**払い(一括) or 3年契約**1年**払い(分割払い)

購入条件

各プラン最小100ライセンス～

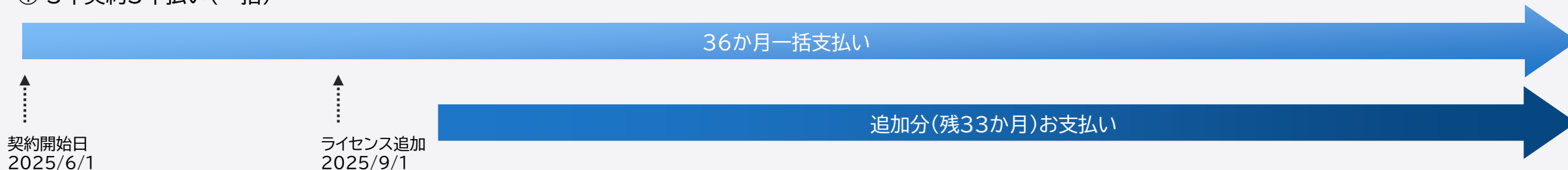
※自動更新ではございません。※初月無償は対象外となります。

価格については、当社営業担当へご確認ください

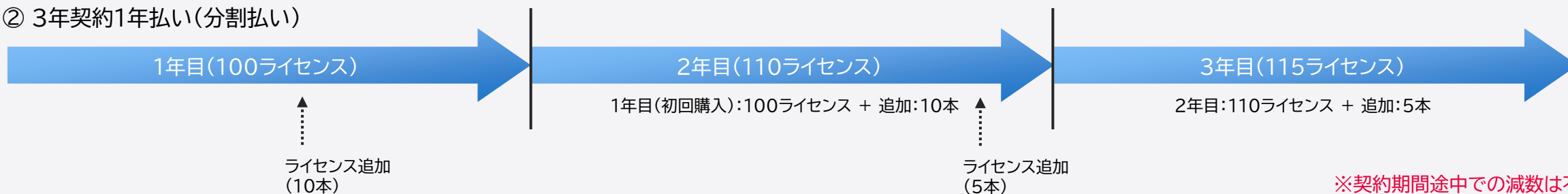


▼ お支払いイメージ

① 3年契約3年払い(一括)



② 3年契約1年払い(分割払い)



※契約期間途中での減数は不可

2025年10月7日以降、MCA同意がない場合**新規購入、既存契約への追加・解約、アップグレード**ができなくなります。

MCA(Microsoft Customer Agreement)とは

- Microsoftのクラウドサービス(主にAzure)やライセンス製品を購入・利用する際に必要となる**基本契約のこと**
- CSPで提供するマイクロソフト製品をご利用頂くエンドユーザー様には**Microsoft顧客契約(MCA)の同意が必要**

※従来、同意作業無しにて自動更新されておりましたが、Microsoft側の仕様変更により、2023年4月以前に初回同意頂いた分は再同意が必要となります。

MCA同意のフロー変更のポイント

	従来	2025年10月7日以降	2026年1月5日以降
流通での代理同意	可	可	不可
同意者	流通	流通	顧客

2026年1月4日以前

2025年10月頭に、その時点で再同意の対象となっていた契約分についてはDISにて一括再同意させて頂きました。2026年1月4日までは流通での代理同意が可能となっているため、DISにて再同意させて頂きます。

メール例

Microsoft 顧客契約に同意していただき、ありがとうございます

このメールは、最近の購入時にクラウドソリューションプロバイダーを通じて Microsoft 顧客契約に同意したことを確認するものです。

お客様の Microsoft 顧客契約を表示します。

Microsoft 顧客契約に同意しなかった場合、質問がある場合、または詳細情報が必要な場合は、クラウドソリューションプロバイダーにお問い合わせください。

[プライバシーに関する説明](#) | [プライバシーに関するお問い合わせ](#)

Microsoft Corporation, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052

2026年1月5日以降

流通での再同意ができなくなるため、**注文フローを変更予定**となります。

詳細は追ってご案内いたします

※ **顧客側での操作不要**

※ MCA同意完了時に、Microsoftから顧客宛にて通知メールが届きます

©2025 DAIWABO INFORMATION SYSTEM CO.,LTD.

CONFIDENTIAL



CSPリセラー要件変更の適応スケジュールが2025年10月から **2026年1月** へ変更となりました。

※要件を満たしていない場合、以降の注文が出来なくなります。
 ※2025年9月時点の情報を基に作成しています。
 Microsoft 側のルール変更により内容が変わる可能性があります。

インダイレクトリセラー要件

CSPリセラー様に対応いただく必要があること



収益条件として必要となる、
年間1,000ドル の実績を残していただく
 ただし、自社利用はカウント対象外。
 ※期間はリセラー様によって異なります。



セキュリティスコアの合格
 パートナーセンターの管理者様への
 多要素認証 (MFA) を設定いただく。



間接プロバイダー連携の承認
 DISを間接プロバイダーとして承認する
 作業を実施いただく。

2025年9月ご案内内容からの変更点

- 無効化タイミング2025年10月→2026年1月

収益要件に関しては、
 各登録月で見られることとなるため、統一スケジュールではなく、
 それぞれの登録月単位となります。

- 間接プロバイダー連携
 2025年9月時点では「任意」ですが、今後、適用時期未定ではあるものの
 「必須化」というアナウンスが入っております

インダイレクトリセラー要件の変更

無効化開始	事前通知メール	事前通知メール送信タイミング
登録月2026年1月が最短	○	登録月1月の90日前 (2025年10月が最初)

収益要件について

Q 収益要件の対象になるプログラムは何でしょうか？

NCE、Azure、Software in CSP が対象となります。

※ただし、Software in CSP についてはカウント対象とされておりますが、収益確認画面で数値として反映されていない旨の報告が入っています。

※今後カウント対象外とされる可能性もありますので、実績に関してはSoftware in CSP を除いたクラウド製品(NCE、Azure)で達成頂くことを推奨致します。

パートナーセンターにログインできない

Q MPNIDが正しい状態になっているか確認する方法はありますか？

以下要件を満たしているか、ご確認をお願い致します。

- 事業所ID(組織IDではない)になっている
- CSP再販登録(オンボーディング)済となっている
- セキュリティスコアの要件を満たしている
- 再販許諾済テナントに紐づいていない
(自社利用テナントで再販を混在させていない)
- 間接プロバイダー連携を実施している

お申し出頂いておりますMPNIDと異なる場合や、お申し出頂いておりますMPNIDが上記要件を満たしていなかった場合は営業までご連絡をお願い致します。

Q 「識別子」の画面でMPNIDが表示されない

MAICPP に登録していないテナント(自社利用)や CSP ではないプログラムで利用している可能性が高いです。
CSP として利用されているテナントより確認をお願いいたします。

Q リセラー要件についての資料

資料は下記リンクからご確認いただけます。

<https://www.idaten.ne.jp/portal/page/in/DIS/software/contents/ms/Indirect.html>

※韋駄天ログインが必要です。

リセラー要件を満たしているか確認したい

Q セキュリティスコアに合格しているか確認したい

下記にてご確認いただけますので、1度ご確認をお願いいたします。

すべての管理者に対する MFA(多要素認証)

CSP テナント内のすべての管理者アカウントに MFA が有効化されており、各管理者が MFA 登録を完了していることを確認してください。

※該当の管理者ロールは以下公開情報に記載のものとなります。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/partner-center/security/security-requirements#mandatory-requirement-enable-mfa-for-all-administrators-on-the-csp-tenant>

以下のいずれかの方法で登録が出来ます。

- セキュリティの既定値 (推奨)
- 条件付きアクセス ポリシー
- 従来のユーザーごとの MFA (推奨されません)




セキュリティ連絡先 _____

Partner Center ▶ アカウントの設定 ▶ 組織プロフィール

に移動し、有効なメールアドレス付きのセキュリティ連絡先が登録されていることを確認してください。

! 2025年12月1日から登録されているMPNIDが正しい状態かのチェックが厳格化されます。

MPNIDチェック(POR)の厳格化

-  iKAZUCHI(雷)に登録されているMPN IDが組織ID(PGA)ではなく、事業所ID(PLA)になっている
-  CSPオンボーディング済みとなっている
-  自社利用設定が行われていない
(自社利用分と再販売で環境を分けられている)

上記要件を満たしていれば**OK**

無効化開始	事前通知メール	事前通知メール送信タイミング
2025年12月1日	×	×

※要件を満たしていない場合、以降の注文が出来なくなります。
 ※2025年9月時点の情報を基に作成しています。
 Microsoft 側のルール変更により内容が変わる可能性があります。



組織ID
(OrgID)

企業に1つ発行される ※組織アカウントとは別の概念

- CSPリセラーとして、「組織ID」を登録することが出来ない
 - 自社利用分とすることを推奨(ID管理が最小で済むため)
- 再販許諾済みの顧客テナントと紐づけることで、
自社利用分の設定となる。



事業所ID
(LocID)

初回登録時に組織IDと同時に1つ発行される

- 複数発行可能
- CSPリセラーとして登録できるのはこちらの「事業所ID」のみ
- 再販用とする場合、間接リセラー連携、収益要件の保持を実施

現在のiKAZUCHI(雷)登録 MPN IDが上記要件を満たしていない場合、要件を満たした別事業所IDを用意頂く必要がございます。

詳細は
こちら

[iDATEN\(韋駄天\) | Microsoft インダイレクトリセラー要件変更についてのご案内](#)
 ※iDATEN(韋駄天)にログイン後にクリックをお願いいたします。



10/23,11/4
2回配信済み

当社経由でCSPの販売店登録を頂いている販売店様へ
メルマガを配信させて頂いております

DIS CSPリセラー様向けメールマガジン 2025/10/23

Microsoft CSP 通信 【重要なご案内】

平素より Microsoft サービスをご拡販いただきありがとうございます。
本メールは当社経由でCSPの販売店登録を頂いている全ての販売店様へ
お送りしております。

2025/12/1～ MPNIDチェックの開始について

2025/12/1 から、すべてのCSPの注文に対してパートナーオブレコード (POR) と呼ばれる
MPNIDチェックが開始となります。
これにより、今まではMPNIDの種類を問わず有効なIDであればMSIに注文が通って
おりましたが、12/1以降はご報告頂き発注用に用いているMPNIDの種類や状態によっては
MSIに注文が通らなくなります。
現在お申し出頂いておりますMPNIDが要件を満たしているかどうか？について、お手数
ですが、改めてご確認を頂けますようお願い申し上げます。
※現在問題なく注文ができています＝要件を満たしているという訳ではございませんので
必ずご確認ください。

Microsoft Lean

詳しくはこちら

確認頂きたいこと

- 【1】要件を満たしているかどうかについて、以下資料をご確認の上、
必要事項のご対応をお願い致します。
<https://www.discloud.jp/CSP/MPNIDCHECK.pdf>
- 【2】11/14(金)までに以下Formsへのご回答を、ご依頼しています。
万一未回答の場合は、早急にご回答頂けましたら幸いです。
<https://forms.office.com/r/Tz0Jaci6nh>

メールをご確認の上、Formsより
ご回答をお願いいたします。



Office の中で AI エージェントが複雑な業務を自動化してくれる「**Agent Mode**」について、Excel を例にご紹介します。

Excel Agent Mode のメリット

- Excel の専門知識がなくても、**高度な分析・モデリングが可能**
- AI が「**計画→実行→検証→修正**」ループを行い、精度の高い結果を生成
- 出力内容は関数やデータの**参照関係が維持され、検証が可能**



- 現在は「**Frontier Program** (先行提供版)」での提供
<https://adoption.microsoft.com/ja-jp/copilot/frontier-program/>
- Excel、Word では**Web版での先行提供**
(デスクトップ版は順次展開予定)

1 Excel Labs アドインをインストール

2 Excel Web版で Agent Modeを選択

3 自然言語で指示

このデータセットの
月別売上の合計を出して

地域ごとの売上を
棒グラフで表示して

カテゴリごとの平均売上を計算して、
上位3製品を教えてください

Describe what you'd like to create or edit

4 Agent Mode が処理を自動実行

追加指示による調整も可能

参考URL

Vibe working: Introducing Agent Mode and Office Agent in Microsoft 365 Copilot
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/blog/2025/09/29/vibe-working-introducing-agent-mode-and-office-agent-in-microsoft-365-copilot/>

Copilot の社内導入に新たな選択肢！ 従来のユーザーライセンス制に加え、**従量課金制**が登場しました。

ユーザーライセンス制 / ホワイトワーカー向け

Microsoft 365 Copilot

仕事のためのAIアシスタント

定額：ユーザー単位

Copilot Chat

職場データの参照対応

Agents

Copilot Studio / Agent Builder

Copilot in M365 apps

Teams, Outlook, Word, Excel, PowerPoint

Copilot Control System

Copilot Analytics

リサーチツール (Researcher)

アナリスト (Analyst)

通訳 (Interpreter)


従量課金制 / フロントラインワーカー・ライトユーザー向け

Microsoft 365 Copilot Chat

セキュアなAIチャット

従量：\$0.01 /メッセージ

 全従業員にチャットベースの生成AI利用を提供

 全従業員が必要な情報をエージェントで提供

Copilot Chat

インターネットWeb情報の参照

Agents

従量課金にて利用可能
Copilot Studio / Agent Builder
SharePoint Agents

IT controls

エージェントの消費メッセージ数の考え方



職場データの参照
(Tenant data grounding)

10メッセージ消費



クラシック型の回答
(事前用意の回答で応答)

1メッセージ消費



生成型の回答

2メッセージ消費



エージェント
アクション

5メッセージ消費

Microsoft 365 Copilot Chat の従量課金制プランの設定には、Azure サブスクリプションのご契約が必要です

ご契約後に Microsoft 365 管理センターで従量課金制のセットアップを行います。

IT 管理者向けに Microsoft 365 Copilot サービスの従量課金制を設定する
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/copilot/microsoft-365/pay-as-you-go/setup>



2025年11月より、Microsoft LSPプログラムの一部製品で価格レベル(A~D)が廃止され、

今後は数量・規模に関わらず「**価格レベルA**」が適用されます。 ※ 教育機関ユーザーは、価格レベル廃止の対象外になります

この変更に伴い、DISでは制度変更の内容と影響、さらにCSPへの移行メリット・注意点をご説明するウェビナーを開催します。
CSP再販パートナー様はもちろん、自社でMicrosoft 365を利用中のパートナー様のシステム部門の方もぜひご参加ください。

開催日時

2025年**11**月**28**日(金)
15:00~16:00

開催場所

Webセミナー Cisco Webexにて配信します

本編内容

- 市場動向とMicrosoft 社の方向性について
- Microsoft 社の制度変更と、今後想定される影響について
- LSP と CSP の違いとメリットについて
- CSP 移行の具体的な流れと注意点について

お申込みURL



<https://forms.office.com/r/uM4JkkPdv8>

対象



従業員数の多いエンドユーザーと
お取引のある販売パートナー



自治体など、MSが定める
ガバメントユーザーとお取引のある
販売パートナー様



多くのライセンスを
自社で利用されている
販売パートナーの情報システム部門

参考URL

Microsoft Online Services: Pricing Consistency Update :

Microsoft Online Services: Pricing Consistency Update | Microsoft Licensing Resources



Microsoft 365 の機能を強化してさらに便利に！

セキュリティ

バックアップ

ワークフロー

移行ツール

監査ログ

文書管理・
電子署名

便利機能

11
月
(雷)

今月ご紹介するソリューション

iKAZUCHI(雷) で購入いただけます！



その他のソリューションはこちら ▶

※クリックでiDATEN(韋駄天)に遷移します。

【M365x大容量ファイル共有】 営業部・プロモ部・設計部署などでご活用

DenshoBako の特徴

01 容量無制限でファイルを簡単共有

- 複数の提案資料や、会議録画、図面データなどメールで送れないファイルも送ることができます
- Teams や OneDrive に保存した資料を簡単に共有 →



M365画面からファイルを共有

02 ファイルの共有ページの作成

- 外部向けの資料共有ページを簡単に作成することができます
- 「製品カタログページ」「ウェビナー参加者向けのページ」「提案中の顧客との情報連携ページ」など様々な用途で活用

例: ファイル共有ページ



画像クリックで実際の画面をご確認いただけます

DenshoBako の特徴 Microsoft 365 と連携した大容量ファイル共有ツール

- 容量無制限でファイル共有
- ワンタイムパスワードなど送付時のセキュリティ機能
- 監査ログの無期限保持

DenshoBako	
補足	利用ユーザー(社内)数の課金 ※10本～
標準価格 (税抜)	年額 6,000円 / ユーザー

▶ iKAZUCHI(雷)サービスガイド | DensoBako については [こちら](#) をクリック!

【11月】MSTピックアップ情報資料について
のアンケート



アンケートURL

<https://forms.office.com/r/Zc8FjJH0Ne>

「MSTピックアップ情報資料」をより良いものにするため、
アンケートにご協力をお願いいたします。

Appendix

2025年11月1日より**Teams付きEnterprise製品の再提供と製品価格改定**が実施されることとなりました。

変更の詳細と概要



提供開始日

2025年11月1日



変更内容

- Teams付きEnterprise製品が新規顧客にも再提供
- no Teams製品の値下げ
- Teams単体製品の値上げ



経緯

欧州での法的な指摘を受け、2024年4月1日以降、Teamsが含まれるEnterprise製品については新規顧客への販売は終息しておりましたが、欧州委員会との和解が行われたことによる変更となります。



価格については、担当へご確認ください。

対象製品

1. Teamsが含まれるEnterprise製品 ※製品提供復活

- Office 365 E1/E3/E5
- Microsoft 365 E3/E5

2. no Teams製品 ※値下げ

- Microsoft 365 Business Premium (no Teams)
- Microsoft 365 Business Basic (no Teams)
- Microsoft 365 Business Standard (no Teams)
- Microsoft 365 E3 (no Teams)※Unattended License含む
- Microsoft 365 E5 (no Teams)
- Microsoft 365 F3 (no Teams)
- Office 365 E1 (no Teams)
- Office 365 E3 (no Teams)
- Office 365 E5 (no Teams)

3. Teams単体 ※値上げ

- Microsoft Teams enterprise ※ Unattended License含む

Microsoft 公式ブログ

[Evolving our productivity offerings to resolve European competition concerns about Teams](#)



2025年9月10、11日に開催しましたDISわあるど in 山形のMicrosoft ブースにてミニセミナーを実施いたしました。その中で、好評だった『Microsoft 365 Copilot のMS社内実践例』についてご紹介させていただきます。



お助けヒーローSEマンの仕組みをご紹介します

お助けヒーロー SEマン

▼ スタータープロンプト

② このエージェントの使い方

右の①か②をクリックしたあと、お客様からの問い合わせをそのままプロンプトに入力してください。

① 社内情報も含めて確認したい場合

社内の SharePoint サイトも参照して回答してください。

社内のSPOサイトも含めて参照可能

② 公開情報のみを含めたい場合

指定したWebサイト（Microsoft の公式ページ）のみから情報を参照して回答してください。

指定した公開情報のみから参照
⇒ そのままお客様に送付可

エージェントに指定しているデータソース：

SharePoint

- Agent Governance FAQ.docx
- 標準ドキュメント
- ドキュメント
- Copilot
- Agents Pricing in Copilot Studio & Copilot Chat.PPTX
- 技術ドキュメント
- Modern Work + Security Licensing News - ByAuthor.aspx

SPO サイト/リソース

- ・TechPlus – MW, Azure, Sec
- ・MW Field Enablement
- ・その他社内ドキュメント など

Web サイト

- <https://www.microsoft.com/>
- <https://support.microsoft.com>
- <https://techcommunity.micros>
- <https://learn.microsoft.com>

Microsoft 公式ページ

- ・製品概要ページ
- ・サポートページ
- ・TechCommunity/公式ブログ
- ・Microsoft Learn

回答フォーマット

【お客様の問い合わせ】
【お客様への回答】 → 丁寧な口調で(そのまま送付用)
【回答の根拠となる情報の詳細】 → 公開情報から引用
【参照したページのURL】 → [ページタイトル:URL] の形式



重要ポイント整理

Copilot提案におけるポイント

01/ Microsoft 365 Copilotの特徴

M365 Copilotは創作・要約・分析・検索等の領域を1つのアカウントで対応できる生成AIサービス
M365を通じて蓄積された情報から「**御社のこと**」を知っている**生成AI**
使い慣れた**M365オフィスアプリ**から直接使える**分かりやすい**使い方

02/ Microsoft 365 Copilotのターゲット層

M365の新規検討と共に生成AIの情報収集を始めるといったお客様やM365の新規検討の際に合わせて既存M365ユーザーUpsellタイミング

03/ (Web情報ベースの)無償Copilot Chatのお試し全社展開

重要な要素は「Copilotとの対話」：1回の指示で高い成果を求めるのではなく追加指示や対話を行いながら業務サポートが実現できることを**無償版Copilot Chat**で実感

DIS ICT EXPO 2025 とは、
ダイワボウ情報システムがおどけする**ICT総合イベント**となっております。
最新のICTソリューションを体験できますので、是非お越しください。

開催日時

2025年10月21日(水)
12:00~17:30

開催場所

Gメッセ群馬

Microsoft
展示ブース

- Microsoft 365 Copilot の活用事例
- Copilot + PC
- Microsoft Azure

お申込みフォーム

[来場事前登録](#) |
[DIS ICT EXPO 2025 in 群馬](#)

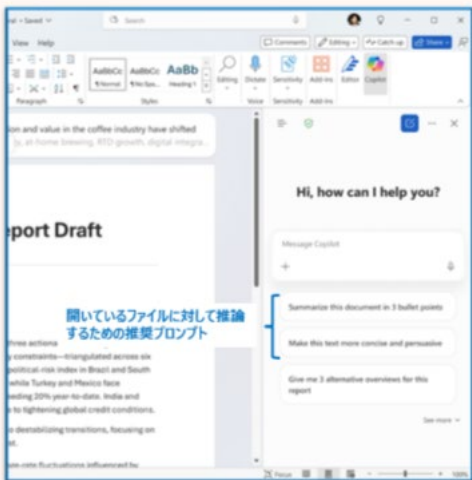


ブースへお越しのお客様に
プレゼントもご用意しております！

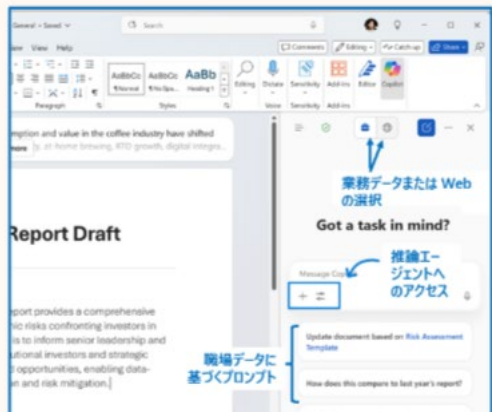


無償版と有償版の違い

Copilot Chat(無償版)



M365 Copilot(有償版)



有償版は社内の業務データまたはWEBが選択が可能です

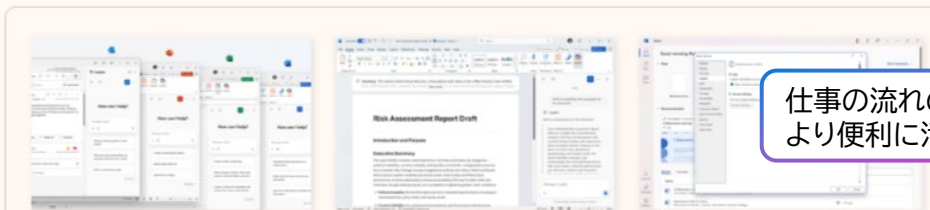
Chat in M365 Apps 主要シナリオ

- イントロダクションを書く**
Copilot は、現在開いているファイルの内容を理解し、導入文を迅速に作成する手助けします。
- 重要な分析結果とトレンドを見る化**
Copilot は、開いているスプレッドシートから主要なインサイトやデータの傾向を抽出し、データを視覚化できます。
- プレゼン資料向けの画像を生成**
Copilot は、プロンプトに基づいてプレゼンテーション資料のデザインに使用できる画像を生成できます。
- プレゼンテーションの準備をする**
Copilot は、プレゼンテーション中に想定される質問を提案し、準備をサポートします。
- 振り返りメールの下書きを作成**
Copilot は、開いているスレッドをもとにフォローアップメールのドラフトを提案します。
- コンテンツを整理する**
Copilot は、仕様が書かれた段落をドキュメント内で表形式に変換することができます。
- 売上データを予測する**
Copilot は、過去のデータをもとに Analyst を活用して来年の売上データを予測し、視覚的に表示することができます。
- 簡条書きを生成する**
Copilot は、作業中のドキュメントから重要なポイントを抽出し、プレゼンテーション用の簡条書きを作成できます。
- 未読メールを要約する**
Copilot は、受信トレイ全体を分析し、優先度の高い未読メールの要約を作成できます。
- 業界レポートを作成する**
Researcher エージェントは、業界のトレンド、競合情報、戦略的な提言を含むレポートを作成できます。
- 顧客データを分析する**
Analyst エージェントは、顧客レビューのデータを分析し、傾向や感情のトレンドを視覚化して共有できます。

	Microsoft 365 Copilot Chat 無償 + 従量課金	Microsoft 365 Copilot \$30/月/ユーザー
イントロダクションを書く	✓	✓
重要な分析結果とトレンドを見る化	✓	✓
プレゼン資料向けの画像を生成	✓	✓
プレゼンテーションの準備をする	✓	✓
振り返りメールの下書きを作成	✓	✓
コンテンツを整理する		✓
売上データを予測する		✓
簡条書きを生成する		✓
未読メールを要約する		✓
業界レポートを作成する		✓
顧客データを分析する		✓

Copilot Chat in M365 Copilot アップデート

Copilot Chatが M365アプリ内で横並びで表示されるようになりました



仕事の流れの中で、より便利に活用できます

統合されたチャット体験

Microsoft 365 の対象アプリ全体で一貫した Copilot Chat 体験を提供。履歴やメモリを共有し、高品質な応答を実現。

日常的に使うアプリに統合

開いているファイルをもとに推論し、専門スキルを持つエージェントを呼び出すことで、作業の流れを途切れさせることなく、より迅速かつ高品質な成果の達成を支援します。

一貫した管理コントロール

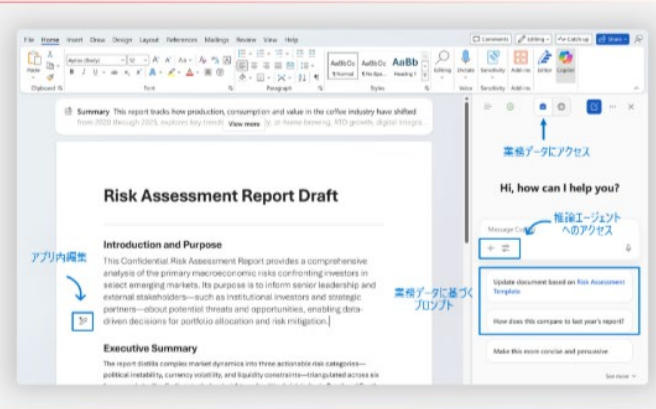
Copilot Chat が導入されている各アプリにおいて、IT 管理者とエンドユーザーの双方が利用できる一貫した管理コントロールを提供します。

セキュリティが確保され統合された AIチャット (Web および 業務データを含む) をMicrosoft 365 アプリ全体で提供します。

キャンパス上のアプリ固有のスキル。Copilot がキャンパスの流れの中で活躍します。

より深いサポートのための エージェントへの組み込みアクセス

Researcher や Analyst のような推論型 AI へのアクセス

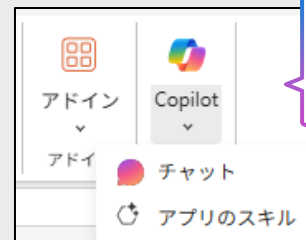




Microsoft 365 Copilot機能を使う際の注意点

ブラウザ版のExcelでCopilotの種類が選べるようになっております。
※Copilotマークのボタンを押すとCopilot Chatが起動されます。

ブラウザ上

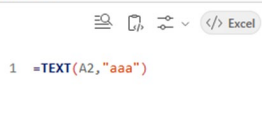


Copilot ボタンを押すと
Copilot Chatが起動

ブラウザ上で指示した場合

実現可能な関数をチャット内にて提案してくれますが、その関数はご自身でセルに入力していただく必要がございます。

1. B列の2行目に以下の数式を入力してください



- A2は日付が入っているセルです。必要に応じてセル番号を調整してください。
- この数式を下までコピーすると、各日付の曜日（日本語：月、火、水...）が表示されます。

2. 補足

- 「aaa」は日本語設定のExcelで「月」「火」などの省略形を返します。
- 英語で曜日を表示したい場合は「ddd」を使います（例：「Mon」、「Tue」など）。

手動でExcelへ数式を入力
する必要あり

アプリケーション上で指示した場合

実現可能な関数を提案し、「列の挿入」ボタンを押せば入力までCopilotで可能



手動でExcelへ数式を入力
する必要なし！

Teams会議に、お好みの言語にてライブ翻訳が可能となりました。

会議開催者がライセンスを保有していればすべての参加者が利用可能



ライブ翻訳キャプション/ トランスクリプション

会議中に、リアルタイムのキャプションとトランスクリプトをお好みの言語に翻訳して、ディスカッションをスムーズにフォローします。

多言語音声認識と
合わせて利用するのが推奨です。



多言語音声認識 参加者ごとの音声言語

各参加者の話し言葉でライブ キャプション/
トランスクリプトを表示します。

ライブ翻訳のポイント

単一言語で話す

短い文で話し、頻繁に一時停止する

専門用語や難解な言葉は避ける

通訳が完了するまで待つ

話す前に手を挙げるなどの合図を出す

カメラをオンにして口の動きを見せる

視覚的なサポートを活用する

インタープリターの設定

会議を聞く言語

日本語

バランス ボリューム

その他のオリジナル音声

その他の通訳音声

通訳時の音声を選択する ①

音声をシミュレートする

インタープリターは、この会議や今後の会議で音声解釈するときに、生体認証音声データを一時的に使用して音声をシミュレートします。[詳細情報](#)

自動音声

キャンセル

確定

AI 通訳の設定

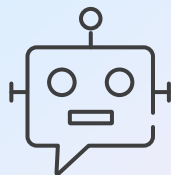
- **会議中に 自分でAI通訳をオンにする**
- ① 話したり聞いたりする通訳言語を設定する
- ② 音声バランスを右に設定して、通訳音声のみを聞く「自分の声をシミュレート」をオンにすると、
- ③ 他の人があなたを簡単に識別できるようになります

Teams会議でのレコーディング後、議事録メモのテンプレート設定が可能となりました。

設定方法



Teams会議レコーディング後、
会議チャットで表示される
要約の表示 をクリック



「**AI分析の概要**」を
クリック



テンプレートの作成から、
議事録メモの
テンプレート設定を行う

生成時間は
約**30秒程度!**

テンプレートには以下を設定可能

- **項目名**
(例: 決定事項、次回アクション)
- **目的や役割**
(なぜ必要か)
- **文字数の目安**

※事前にパブリックプレビューをオンにする必要があります

活用メリット



メリット1

要約精度の事前設計

要約の構成・粒度・視点を
事前設定することで、より実務に
即した情報のみに絞られる



メリット2

用途別レポート自動生成

報告書・議事録・進捗レポートなど、
用途に応じたフォーマットにて
自動生成できる

こんなシーンで活用頂けます



プロジェクト
進捗報告



定例会議の
議事録



クライアント向け
報告書

Teams会議中の時間管理を強化するトラッカー機能が搭載されました。

Facilitator機能

Microsoft Teams における会議の進行を支援するAIエージェント

✓ AIメモの自動生成と共有編集

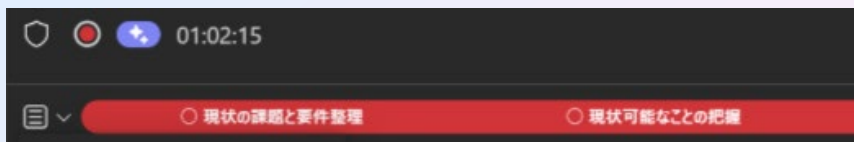
リアルタイムに、全ての参加者がノートを編集できます

✓ トラッカー(時間配分の視覚化) **NEW**

会議の進行状況をバーで表示し、残り時間や議題の進捗を明確化

✓ 時間超過アラート **NEW**

- 議題や会議全体で設定時間を超えると赤く表示
- 1時間を超過した場合、赤いハイライトと通知が参加者へ注意喚起されます



活用メリット



メリット1

リアルタイムでのノートの共同編集

役割分担がやすく、
チーム内の認識ずれを防ぐ



メリット2

時間管理

- 進行役がいなくても、AIで時間監視
- 各議題毎の進行状況を参加者全員が把握可能

設定方法

会議前に有効化する場合

Teamsで会議をスケジュール
会議オプション⇒**Facilitatorをオン**



会議中に有効化する場合

会議画面の『…(その他)』⇒『アプリを追加』⇒『Facilitator』を選択
または
chatで『@Facilitator』を入力して呼び出し

会議の議題

会議の説明とLoop会議ノート ファイル内の議題を自動的に検索します。
ファシリテーターが会議ノートまたは会議出席依頼から議題の抽出が可能です。
※会議中にチャットで@mentioningファシリテーターによって提供することもできる

例 ”@Facilitator、次の議題: 概要 (5 分)、製品ディスカッション (25 分)。”

GitHub Copilot とは、OpenAIの技術を活用した **AIコード補完ツール**です。
開発者がコードを書き始めると、Copilotが次の一行を予測・提案し、スピーディかつ高品質なコーディングを支援します。

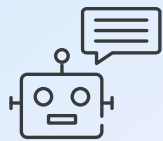
GitHub Copilot の特徴

コーディング時間の削減



- 汎用的なコードやエラー修正を **AIが自動提案**
- 開発者が設計や実装に集中でき、開発効率が**大幅に向上**

レビュー時間の短縮



- コード管理とAI提案で、レビューや承認がシームレスに！
- コメントによる非同期コミュニケーションで、**拘束時間を削減**し開発時間を創出

チェック運用の負荷軽減



- 複数LLMによる支援で、デバッグ回数や著作権リスクを削減
- 品質維持**と**顧客信頼度の向上**に貢献します

Research : [quantifying GitHub Copilot's impact on developer productivity and happiness](#)

各プランの料金



プレミアムリクエスト

Free

無償

50
件/ユーザー/月

Business

月額 \$19(USD)×
利用ユーザー数

300
件/ユーザー/月

Enterprise

月額 \$39(USD)×
利用ユーザー数

1000
件/ユーザー/月

プランの詳細はこちら



<https://docs.github.com/ja/copilot/get-started/plans>

Azure Arc とは

- オンプレミスや他クラウド(AWS、Google Cloud等)のサーバーやサービスも、**Azure Portal から一元管理できる**サービス
- お客様の要望や環境に応じて、**必要な機能の使い分けが可能**

Azure Arc のメリット

シングルコントロールプレーン with Azure Arc



Azure Portal から一元管理が可能！

Azure 以外の環境でも利用可能！

セキュリティとコンプライアンスの実現が可能！

Azure Arc の概要・対応サーバー・詳細は公式サイトをご確認ください。
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-arc/overview>



セキュリティの強化とログ管理

Microsoft Defender for Cloud

Microsoft Sentinel



Azure と同様のポリシー適用

Azure Policy



災害対策として活用したい

Azure Site Recovery

Azure Backup



監視とアラート

Azure Monitor (Log Analytics & insight)

Azure Arc 対応サーバ (物理、仮想、クラウド問わず)



Azure Arc 対応サーバの機能

Azure Update Manager

Azure Update Manager の概要 | マイクロソフト ラーニング (microsoft.com)



<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/update-manager/overview?tabs=azure-vm>

ESUの有効化

Azure Arc を使用した Windows Server 2012 用の拡張セキュリティ更新プログラムの配信を準備する方法



<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-arc/servers/prepare-extended-security-updates?tabs=azure-cloud>

2025年8月29日より、iKAZUCHI(雷)上の注文に必要な項目が追加となりました。

変更点①

既存テナントへの追加の場合、「テナントID」情報欄を追加

テナントIDとは、
Microsoft 365 や Azure 等で利用する「テナント」を一意に識別するためのIDとなります。
当社ではテナントIDを確認することができないため、販売店様にてユーザーテナントのIDを確認頂く必要があります。

テナントID確認方法：https://www.idaten.ne.jp/portal/page/in/mss/dl_contents/MS_tenantid.html

変更点②

【再販売 または 自社利用】の選択項目を追加

手配するライセンスの用途に応じて、以下のいずれかを選択してください。

- ・再販目的の場合:「再販売」
- ・自社利用の場合:「自社利用」

※ご迷惑をおかけしますが、ご注文をより正確に処理するための運用変更となります。
何卒ご理解頂けましたら幸いです。

NCEの契約期間中、既存契約のプランを、上位のプランへ変更(アップグレード)することができるようになりました

アップグレード可能な契約形態

年契約・年払

年契約・月払

※月契約・月払は対象外

※年契約・月払 → 年契約・年払など、契約形態の変更をご希望の場合は解約後に新規契約へ切り替え

アップグレードイメージ

2025/4/1
契約開始

2026/3/31
契約満了

<アップグレード前>

Microsoft 365 Apps for business 年契約・年払 100本

2025/8/1 アップグレード

<アップグレード後>

Microsoft 365
Apps for business

Microsoft 365 Business Standard 年契約・年払 100本

※一度アップグレードしたプランは元に戻せません。

アップグレード可能なパターン

※ 既存契約100本の場合

全数
100本→**100本**アップグレード

増数
100本→**130本**アップグレード
※ 減数不可

部分
100本→**50本のみ**アップグレード

販売店様向けNCE プランアップグレード資料をご用意いたしました。
ご注文方法や注意点を記載しておりますので、プランアップグレードご希望の際は、ご確認ください。

NCE プランアップグレード資料

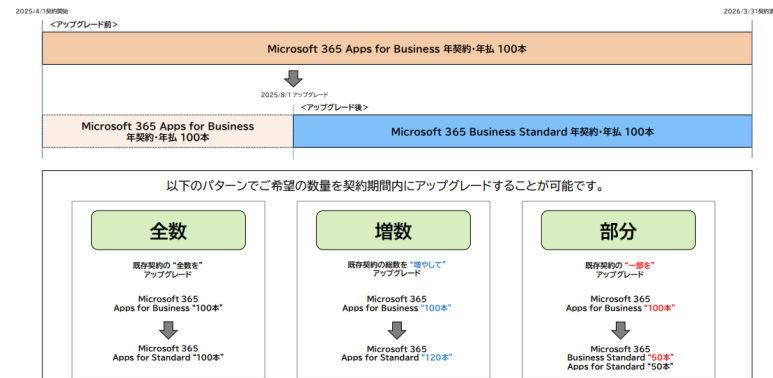
NCEプランアップグレードについて
<支店・販売店様 案内向け>

2025年 8月更新



DIS (NCE)プランアップグレードのイメージ

例 Microsoft 365 Apps for business (年契約・年払) 100本 ⇒ Microsoft 365 Business Standard (年契約・年払) 100本



©2025 DAIWABO INFORMATION SYSTEM CO., LTD. [CONFIDENTIAL] 5

NCEアップグレードの概要・請求ロジック

iKAZUCHI(雷)での注文方法、FAQ

注意点

NCEプランアップグレードご希望の場合、
まずは当社営業へご相談ください

2025年9月1日からCSPでESUの提供が開始されました。

ESU 有効化作業手順書

ESUとは

Windows 10のサポートが終了する2025年10月14日以降、さらに3年間(2028年10月まで)Windows10のセキュリティ更新プログラムを提供するサービスです。

[Windows 10の拡張セキュリティ Updates \(ESU\) プログラム | Microsoft Learn](#)

提供方法 CSPではSoftware in CSPでの提供となります。

対象ユーザー

ビジネス

アカデミック

非営利団体

1年目・2年目・3年目の型番が存在し、それぞれの期間(サポートが延長される期間)が決まっています。

いつ購入しても適用期間は固定となり、**購入から1年の適用ではありません。**

2年目・3年目のみを購入することが出来ません。

適用を希望する期間以前のライセンスを保有する必要があります(例:3年目を購入・適用する際は、1年目・2年目の購入が必要)



⚠ 注意点

ESUプログラムから更新プログラムをインストールするには、デバイスがWindows 10バージョン 22H2とKB5046613,またはそれ以降の更新プログラムがインストールされている必要があります。前提条件と商用環境でのESUの有効化の詳細については、「拡張セキュリティ Updates (ESU) を有効にする」を参照してください。

Copilot + PC とは

小規模言語モデル (SLM) 「Mu」

- AIに特化したハードウェア要件を満たしたPC
- 40TOPS以上の **NPU** を搭載
- 16GB以上のメモリ/256GB以上のSSD
- デバイス上でAI処理を実行
- 独自のAI機能

Copilot+ PCとAI PCの違い

Copilot+ PC = NPU = 40TOPS以上&Copilotボタン

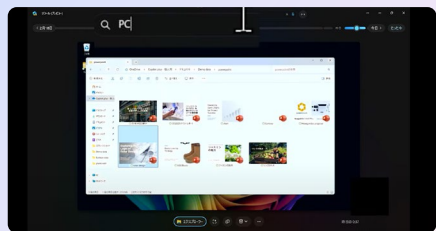
AI PC = NPU(性能関係なし)&Copilotボタン

イメージ



「AI PC」と「Copilot+PC」は、どちらもAI処理が可能なPCだが、「Copilot+ PC」は、**より新しく高性能なNPUを搭載し、AI PCよりも高速かつ効率的なAI処理が可能。**

Copilot + PC 機能紹介



リコール

特定のデータや画像などを、簡単に呼び出すことができる機能

過去の操作履歴から
欲しい情報を探し出す



Windows Studio エフェク

ビデオの音声エフェクトを
適応できる機能

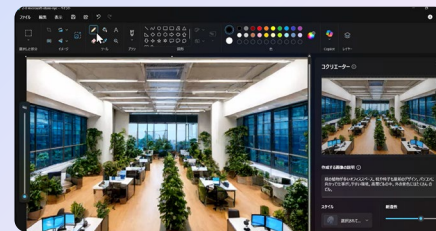
プレゼン中にカメラ視線を
維持して説得力向上



イメージクリエイター

フォトアプリに搭載されている
画像生成機能

スタイル変更や
画像編集も可能



コクリエイター

Copilot + PC のペイントで
使える画像生成機能

画像+プロンプトで
新しい画像を生成

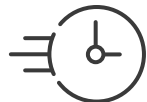


ライブキャプション

PCの音声出力をリアルタイムに
翻訳し、画面上に表示する機能

※現在は英語字幕のみ
高速かつ正確な
字幕表示が可能

Copilot +PC のメリット



高速処理

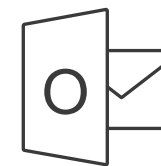
オフライン利用が
可能AI活用で、
生産性向上データはPCのローカルに
保存することで、セキュリティの
脆弱性を軽減

SDGs

シングルチップ上でローカルに
処理を実行するため、CO2排出を削減

Microsoft 365 Copilot のメリット

日常の業務支援



(Word、Excel、PowerPoint、Outlook など)

+

膨大な社内データを生成AIで効率的に活用

Copilot +PC と Microsoft 365 Copilot ライセンスを組み合わせることで
ユーザー体験を一気に向上させる

※ Microsoft 365アプリと連携したCopilot機能を使うには、Copilotライセンスが必要です



2025年8月より、Microsoft 365 Copilot および Copilot Studio にて、OpenAI の最新モデル『 GPT-5 』が搭載されました



M365 Copilot

職場

Web

GPT-5 を試す



従来の GPT-4 や GPT-4o との違い

思考力・安全性・処理性能 が大幅に向上

1



高速かつ精緻な応答

定型的な質問には、**即座に簡潔な回答**を提供し、複雑な質問には、**文脈を理解・収集・分析し、詳細な回答**を生成

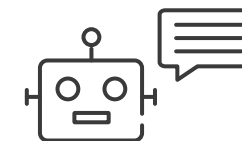
2



業務データとの連携強化

メール・チャット・会議・文書などの業務データを活用し、GPT-5 の推論能力を使って**業務に即した提案や分析**を行う

3



Copilot Studio での
高度なエージェント構築

Copilot Studio でも GPT-5 が利用可能となり、**業務プロセスに応じた適切な AI エージェントの構築**が可能

Copilot の管理・運用のスキルが身につく

法人ではCopilot導入後の管理・運用の仕組みを構築していくことも重要です。Copilotの管理者に求められるセキュリティやコンプライアンスを中心とした管理・運用のスキルを身につけることができます。また、研修ではデモを交えて分かりやすく解説します。

お客様の取り組み定着化まで伴走支援

Copilot導入後の活用状況を確認させていただきながら、お客様の課題やご相談に対して具体的なアドバイスを行い、Copilotの業務利用の定着化に向けた取り組みや、販売パートナー様の再販強化に向けた取り組みを継続性を持ってサポートいたします。

商品コード: ZDX-DXPRACCPADSTEP1

- 受講料(税別): 240,000円 ※講座とフォローアップミーティング(4回/年)
- 開催形式: オンサイト or オンライン
- 開催時間: 10:00~12:00 or 13:00~15:00 計2時間(平日のみ)
- 開催場所: お客様指定の任意会場/DIS東京大井町オフィス(地方開催は別途要交通費)
- 人数条件: 特に条件なし
- 対象者: Copilotを導入されている企業の経営層・情報システム部門の方/Copilotを提案されている販売パートナーの情報システム部門・技術関連部門の方
- 必要環境: インターネット接続が可能なPC(Microsoft Teamsを利用します)
※推奨:Microsoft 365 Copilot のライセンス および管理者ロール



運用・管理で重要となるセキュリティを中心とした知識・スキルが身につきます

- ✓ Microsoft 365 の導入を手早く始めたい方向けに 基本環境を構築するサービス
- ✓ ベースとなる基本セット3種に様々なオプションメニューを追加いただくことで、柔軟なカスタマイズが可能

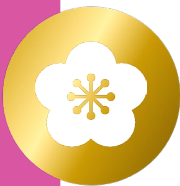
Microsoft 365 を導入して働き方を変革したいが
構築経験がないため基本環境を作成してほしい

専門家に相談しながら標準的な
Microsoft 365 の環境を作り上げたい

自社サービスの展開を検討しており、
定型化された設定作業を協力会社にオフロードしたい

- 基本セット

- オプションメニュー



スタートアップ: 手軽に Microsoft 365 を導入して環境を整えたいお客様



Microsoft 365 基本環境

参考価格: 320,000円(税別)~

- Microsoft 365 を初めて使う方
- 小規模な企業や団体、費用を抑えたい方



ベーシック: 業務の効率化と安全性をバランスよく実現したいお客様



Exchange
Online



Microsoft
Teams

参考価格: 630,000円(税別)~

- メールや Teams を積極的に活用したい方
- 社内外のコミュニケーションを安全、快適にしたい方



アドバンスト: リスクを最小限に抑え、レベルの高い安全性と安心を求めるお客様

NEW!!

DIS 推奨セキュリティ設定

参考価格: 880,000円(税別)~

- セキュリティやコンプライアンスを重視する方
- 取引先等から法令遵守を意識した設定を求められている方

Active Directory
同期サーバー構築支援

Exchange スキーマ
拡張作業支援

Microsoft Defender
for Office 365 導入支援

多要素認証(MFA)設定支援

条件付きアクセス構築支援

Microsoft Intune
MDM導入/アプリ展開支援

SharePoint データ移行支援

など

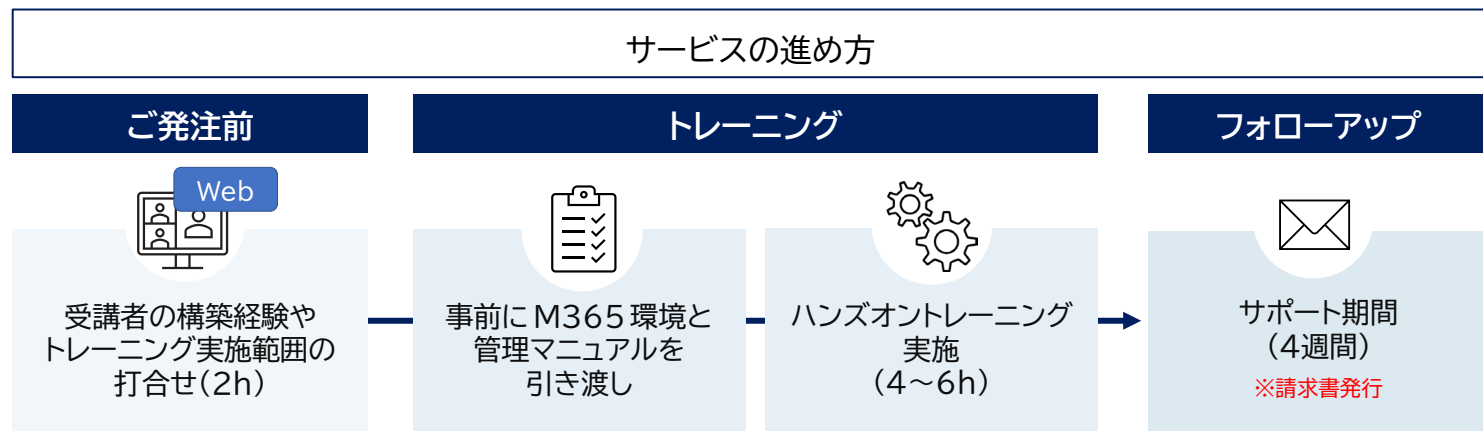
【一覧】Microsoft 365 構築メニュー

対象サービス	設定内容	スタートアップ	ベーシック	アドバンスト
DNS	独自ドメイン所有権確認のためのDNSレコード登録支援 (TXT)	●	●	●
	SPF,DKIM実装のためのDNSレコード登録支援 (TXT、CNAME、MX)		●	●
	DMARC実装のためのDNSレコード登録支援 (TXT)			●
Microsoft Entra ID	ユーザー登録、ライセンス付与 (300名以上は個別見積もり)	●	●	●
	パスワードの有効期限ポリシー、セルフパスワードリセット設定	●	●	●
	ゲストユーザーの招待制限、ゲストユーザーのアクセス制限設定	●	●	●
	スマートロックアウト、禁止パスワードリスト設定			●
	アイドルセッションのタイムアウト設定、管理センターへのアクセス制限			●
	Microsoft 365 グループ作成制限、セキュリティグループ作成制限			●
	アプリケーションによる組織データへのアクセス要求時の承認制限			●
Exchange Online	メールサーバー切り替え作業 (平日日中帯)		●	●
	メールデータ移行支援 (汎用PSTファイル 出力/取込手順書提供)		●	●
	各種グループ作成、共有メールボックス作成		●	●
	会議室・備品予約用リソースメールボックス作成		●	●
	予定表のアクセス権限設定		●	●
	外部ユーザーへの自動転送設定制限、外部ユーザーへの予定表共有制限			●
	Outlook アドインインストール制限、外部共有ストレージ利用制限			●
	MailTips 有効化設定			●
Exchange Online Protection	共通添付ファイルフィルター設定			●
	マルウェア対策ポリシー設定			●
	迷惑メール対策送信ポリシー設定			●
Microsoft Teams	外部アクセス設定、ゲストアクセス設定		●	●
	外部ユーザーとのチャット利用制限			●
	サードパーティアプリ連携の一般ユーザー利用制限			●
SharePoint Online OneDrive for Business	SharePoint / OneDrive 共有範囲設定		●	●
	外部共有リンクの有効期限設定			●
納品物 メールサポート	【管理者向け】M365 簡易ハンズオントレーニング (録画可) 【管理者向け】M365 管理手順書 【ユーザー向け】Outlook on the web 利用手順書 【ユーザー向け】Outlook アプリ初期設定手順書 【ユーザー向け】Office インストール手順書 担当エンジニアによる環境引き渡しから2週間のメールサポート	●	●	●

ベーシック範囲【有償】

ユーザー規模300名以下の擬似案件を題材として、基本的な各種リソース作成 から Exchange Online へメールサーバーを切り替えた後の動作試験までの工程を体験するために、管理センターやPowerShell、DNSサーバーをハンズオン形式で操作していただき、伴走型でベーシック環境を構築するトレーニングです。

アジェンダ ※構築メニュー<ベーシック>範囲
設計
自社ドメインの所有権確認
ユーザー/グループ/共有メールボックス/リソース作成
メールボックス作成時の日本語化・アクセス権限設定
Entra/SharePoint/OneDrive/Teams 環境設定
Autodiscover・SPF・DKIM 登録/動作試験
メールサーバー切替
ユーザー向け 環境引き継ぎ



実施内容

- 参考価格：630,000円(税別)
- 開催形式：オンライン もしくは オンサイト (ダイワボウ情報システム株式会社 東京支社会議室(地方開催別途相談))
- 開催時間：4~6時間
- 対象者：構築スキルはあるが、M365のベストプラクティスが分からない方 / メールサーバーの切り替えを経験したことが無く、伴走型で学びたい方 など ※パートナー様向け
- 必要環境：インターネット接続が可能なPCをご準備ください。M365ライセンスやドメインなどの契約は弊社でご用意いたします。

SharePoint移行ツール データ移行支援 オプション【有償】

対象 Microsoft 365 構築メニューをご契約いただき、なるべく安くデータ移行をしたい方向け



移行先Teamsの作成

移行先となるTeamsの作成、及びアクセス権限の設定を行います。

以下のデフォルトで確認が可能なファイルを想定



操作手順書

弊社作成のSharePoint移行ツール 操作手順書を提供し、お客様による初期設定・移行作業のご支援をいたします。



移行ツール レクチャー会

実際の操作を交えながらテスト移行を含んだ、移行ツールのご説明をさせていただきます。

(オンライン会議にて2時間程のレクチャー会を想定しております。)

※実際のデータ移行はお客様にて行っていただく必要があります。

メニュー	対象サービス	設定内容
オプション	オプション:SharePoint移行ツール データ移行支援	データ移行先Teamsの作成、権限設定 ※1
		SharePoint移行ツール 操作手順書の提供
		SharePoint移行ツール レクチャー会
		SharePoint移行ツール 問い合わせ対応 ※2

商品名	参考価格 (円)
SharePoint移行ツール データ移行支援 オプション	200,000~

Microsoft 365 SharePoint移行ツール データ移行代行 オプション【有償】

対象

Microsoft 365 構築メニューをご契約いただき、データ移行の全てを任せたい方向け



移行スキャン 操作手順書

弊社作成の「SharePoint移行ツール 移行スキャン 操作手順書」を提供しますので、移行をしたいデータすべてに対して移行スキャンの実行をお願いします。

※受注前お客様タスク



DISへのログ提供

SharePoint移行ツールにて移行スキャンを行うとスキャン結果が自動的に出力されますのでログファイルのご提供をお願いします。

※受注前お客様タスク



お見積り

ご提供頂いたスキャン結果のログの内容をに基づき、お見積りを作成します。



エラー対応

受注前 移行スキャン 実施時に発生している、エラー内容の対応を実施します。



移行ツール 設定代行

SharePoint移行ツール移行に必要な設定代行を行います。



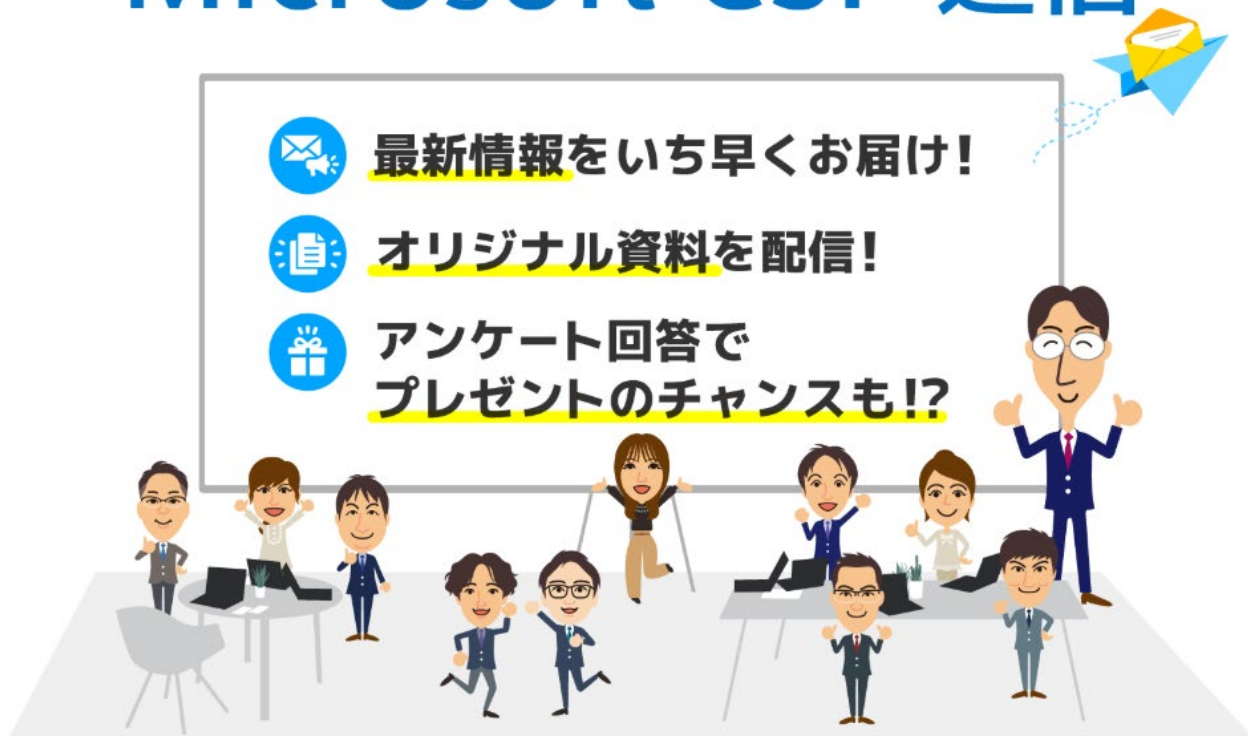
データ移行 作業代行

SharePoint移行ツールを使用し、オンプレミスファイルサーバからデータ移行の作業代行を行います。
※リモート作業ができる環境のご用意をお願いします

メニュー	対象サービス	設定内容
個別見積	SharePoint移行ツール データ移行代行	データ移行先Teamsの作成、権限設定 ※1
		操作スキャン データ移行時の エラー対応
		SharePoint移行ツール 移行設定
		SharePoint移行ツールをデータ移行
		データ移行に伴うエラー対応

商品名	参考価格 (円)
SharePoint移行ツール データ移行代行 オプション	データ量/エラー数により個別見積 300,000 ~

DIS CSP リセラー様向けメールマガジン
Microsoft CSP 通信



配信を希望される方、配信先の変更は、
cspmail@pc-daiwabo.co.jp までご連絡をお願いいたします。

登録無料

[iDATEN\(韋駄天\)](#) | [Microsoft 365](#) | メールマガジン

※iDATEN(韋駄天)ログイン後にクリックをお願いいたします。

「Microsoft CSP の最新情報を誰よりも早く知りたい」という方必見!

配信内容

Microsoft CSP の最新トピック

Microsoft CSP に関する最新情報、トピックをまとめたオリジナル資料

セミナー・イベント情報

Microsoft、DIS 主催のセミナーやイベント

コラム記事・新コンテンツのご紹介

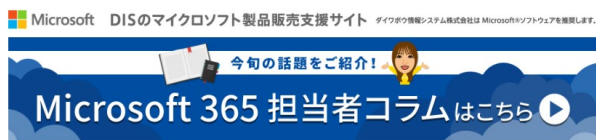
担当者コラム記事やiDATEN(韋駄天) Microsoft 販売支援サイトのアップデート、新たに作成したチラシなど

未確定速報

Microsoft から発表された速報ベースの情報
※本件に関するお問い合わせはお受けできませんので、ご了承ください。

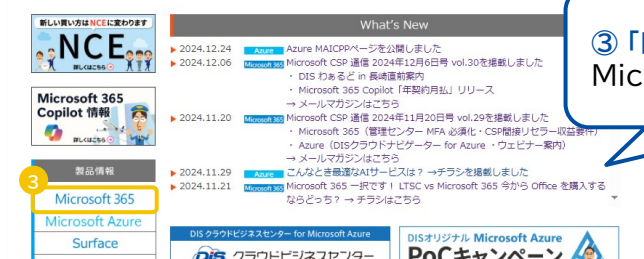
掲載場所

iDATEN(韋駄天)トップから
①「ソフトウェア・サービスを探す」
⇒ ②「マイクロソフト」をクリック



バナーから直接担当者コラムのページを開くこともできます！

③「Microsoft 365」から
Microsoft 365 販売支援サイトへ



④「担当者コラム」をクリック



最新記事

第22回 CLICK Microsoft Loop とは？ Loop の機能と用途



Microsoft Loop とは・・・
共有のワークスペースとして利用できる、
コラボレーションを重視したキャンバスアプリ

複数ユーザーがリアルタイムで情報を共有し、
編集やタスク管理を行うことができるため、
プロジェクトやチームでの共同作業に最適

Microsoft 365 Copilot ライセンスを
持っているユーザーは、Loop アプリでの
コンテンツ作成に Copilot を利用可能

その他の担当者コラムは、こちらからご覧ください ▼

<https://www.idaten.ne.jp/portal/page/out/secolumn/index.html?category=5&logName=CSP>



Exchange Online や ビジネス版 Gmail とAPIで連携するメールセキュリティ製品

メールから始まる様々な被害

VPNや脆弱性が原因となるサイバー攻撃が目立ちますが、メールを起因とするサイバー攻撃被害もまだまだ多いです。



悪意のある添付ファイルを開いてしまう



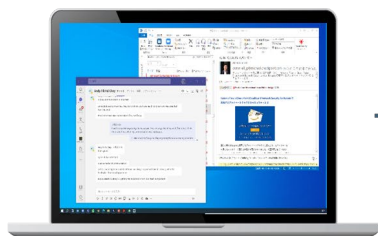
フィッシングサイトに認証情報を入力してしまう



詐欺に遭い攻撃者の口座に入金してしまう

Exchange Online 連携のメールセキュリティ

メールとコラボレーションツールに脅威対策と情報漏洩対策機能を提供！



14日間の無料トライアルで効果を実感！

トライアル実施は弊社営業担当までご相談ください！

Harmony Email & Collaborationの特長



1

API連携で実装するため**簡単実装**！
MXレコードの変更やエージェントのインストールは不要！

2

日頃のメールの頻度やメール本文を**AIが分析**し、脅威を検知/防御！

3

添付ファイルやURLを**無害化**し、
安全なメールを利用者に送信！
問題が無ければ復元も可能！

4

メールだけでなくチャットツールや
オンラインストレージサービスの
マルウェア検知、情報漏洩対策も可能！

ご提供価格

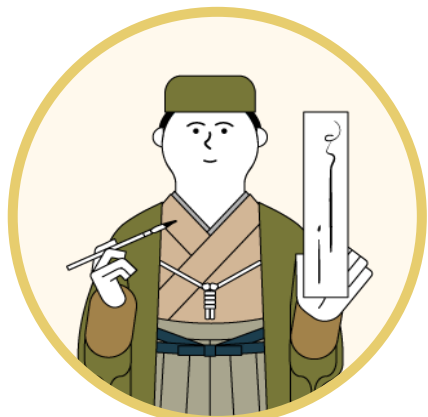
※ 販売にあたってCheckPoint 社のパートナー登録が必要です。
※ ユーザライセンスとなります。

項目	機能	Email			Email & Collaboration		
		Protect	Advanced	Complete	Protect	Advanced	Complete
Email	マルウェア、フィッシング対策	●	●	●	●	●	●
	サンドボックス、ファイル無害化		●	●		●	●
	情報漏洩対策			●			●
Collaboration	マルウェア、フィッシング対策				●	●	●
	サンドボックス					●	●
	情報漏洩対策						●
ご参考価格(年額)		¥ 10,800	¥ 13,800	¥ 18,000	¥ 15,000	¥ 19,500	¥ 25,500

【バックアップ】HYCU/R-Cloud for Microsoft 365

Microsoft 365 を安心して利用しませんか？

HYCU R-Cloud for Microsoft 365 なら、シンプル簡単にデータ保護できます！



HYCU

どこいった？
まさかデータ
消えている

人為的なミスをはじめ、意図しない理由でデータを消失する可能性があります。特に共有ファイルや共有フォルダが消失した場合、影響は組織全体に広がります。

復旧も
データすべては
もどらない

Microsoft 365 にも復旧機能がありますが、一定期間を過ぎると復旧ができなくなるなど完全ではありません。

365
ウィルス達も
狙ってる

ランサムウェアをはじめとするマルウェア感染やサイバー攻撃等でファイルが使用できないなどの被害にあう場合があります。

データ保護
最後に守るは
自分たち

Microsoft 365 自身も様々なデータ保護機能がありますが、データ管理は利用者の責任となります。大切なデータは、ユーザー自身で保護しなければいけません。

HYCU R-Cloud for Microsoft 365 の特徴

運用要らずの Microsoft 365 バックアップ

- Exchange、OneDrive、SharePoint、Teams のドキュメントデータを容量・保持期間無制限で保存
- Exchangeジャーナリングの活用で、送受信メール全てを保持
- 保存データの高速かつ、高度な検索。メールやファイル単位で復元

HYCU R-Cloud for Microsoft 365

補足

Exchange Online の MailBox 1つにつき1ライセンス

標準価格
(税抜)

年額 / **8,640円**

▶ iKAZUCHI(雷)サービスガイド | HYCU R-Cloud SaaS for Microsoft 365 については [こちら](#) をクリック！



DIS

ダイワボウ情報システム株式会社